

**MESSAGE** 株主の皆さまへ

株主の皆さまには、日頃から、あたたかいご支援をいただき誠に有り難うございます。

また、当社のホームページをご覧ください有り難うございます。

さて、当第3四半期連結累計期間（平成27年1月～9月）における日本経済は、前半は原油価格の低下や円安・株高の進展等により緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら夏場以降、円安進展等による家計購買力の低下や、中国経済の減速を契機とした世界同時株安の進行等を背景に国内景気は足踏み状態となりました。

このような経済環境のもと、当社はガスツールの新モデル投入等付加価値の高い製品の開発・販売に取り組んでまいりましたが、住宅市場の低迷に加え一般建築市場も振るわず、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,882百万円（前年同期比6.3%減）の減収となりました。利益面におきましても売上数量の減少に加え、前年同期に比べ大幅に円安が進んだことによる中国子会社生産品の採算悪化、8月の人民元切り下げによる為替差損の発生により、経常損益は547百万円の損失（前年同期は54百万円の損失）、四半期純損益は560百万円の損失（前年同期は96百万円の損失）となりました。

株主の皆さまには大変ご心配をおかけし、誠に申し訳ございません。

現在、当社では、人件費を含めた全社的な経費削減を進めることはもちろんのこと、販売価格の改定や、円安により競争力を失った中国子会社生産品の国内生産移管等不採算品の抜本的整理・改善を進めており、第4四半期以降徐々に効果が出てくる見込みです。また、ガスツールの新モデル投入をはじめ、改修市場への商品ラインナップの強化等市場開拓を強力に進め、売上の回復をはかってまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

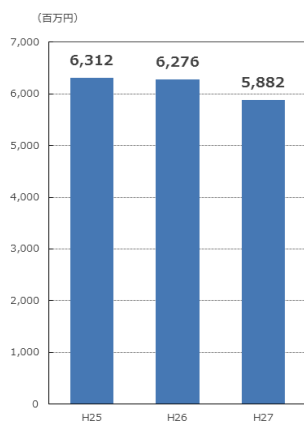
日本パワーファスニング株式会社  
 代表取締役社長 土肥 智雄

連結業績ハイライト～第3四半期累計～

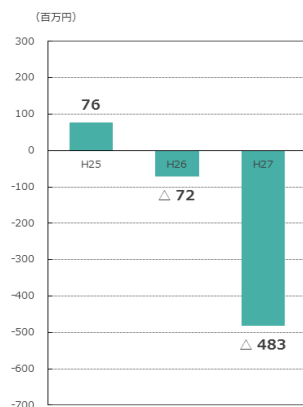
（期間：1月～9月／単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	総資産 ※9月末時点
平成25年	6,312	76	252	173	12,423
平成26年	6,276	△ 72	△ 54	△ 96	12,649
平成27年	5,882	△ 483	△ 547	△ 560	11,715

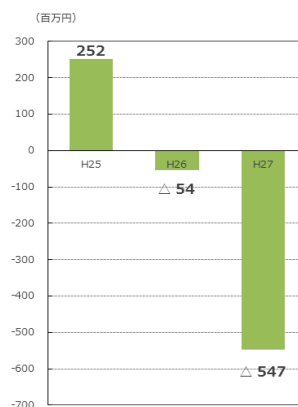
■ 売上高



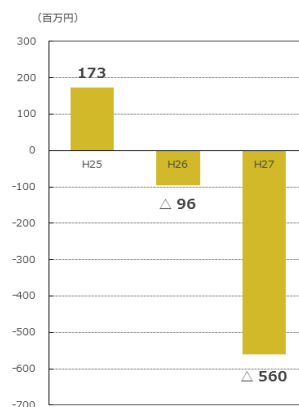
■ 営業利益



■ 経常利益



■ 四半期純利益



## TOPICS ～JPFの製品はこんなところで使われています～

### 豊洲新市場〈東京都江東区〉

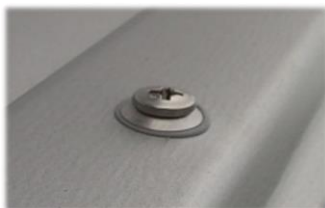
東京都江東区豊洲に豊洲新市場が建設されています。豊洲新市場は築地市場の老朽化・過密化の問題を解決し、「築地ブランド」を継承して平成28年11月に開場予定です。  
ここでもMBテクスやタッピングねじが使用されています。

### 市立吹田サッカースタジアム（ガンバ大阪 新スタジアム）〈大阪府吹田市〉

本年10月、大阪府吹田市に建設された「市立吹田サッカースタジアム」に当社製品が使用されています。  
屋根や壁、座席の固定にシートテクスが使用されました。



▲ 市立吹田サッカースタジアム施工現場



▲ 施工例



▲ 施工に使用された当社製品

このように、当社製品は皆様の身近なところで活躍しています。  
今後も、多くの現場に当社製品をご採用いただけるように、  
社会のニーズに対応した製品を開発し、積極的な営業活動をおこなってまいります。

## 株価チャート

